

F SPORT PARTS (TRD)

MS343-24001/2/3

リヤディフューザー

取付・取扱要領書

この度はF SPORT PARTS (TRD) リヤディフューザーをお買い上げ頂きありがとうございます。
 本商品を正しくお使い頂く為に、裏面の注意書と下記をよくお読みになった上で装着し、安全にご使用頂くよう、
 お願い致します。なお本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付は車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS343-24001-A1	杓付ノグ ガスルーク (083)	RC	GSC10 AVC10 ASC10	14.9 ~ 15.9 ~ (※1)	
MS343-24001-C0	ブラック (212)				
MS343-24001-C2	グライイトブラック ガスルーク (223)				
MS343-24002-NP	未塗装品 (プライマー処理品)				
MS343-24003	共通品 (212)				

※ディラーオプションを含み、他社製品との同時装着は出来ません。

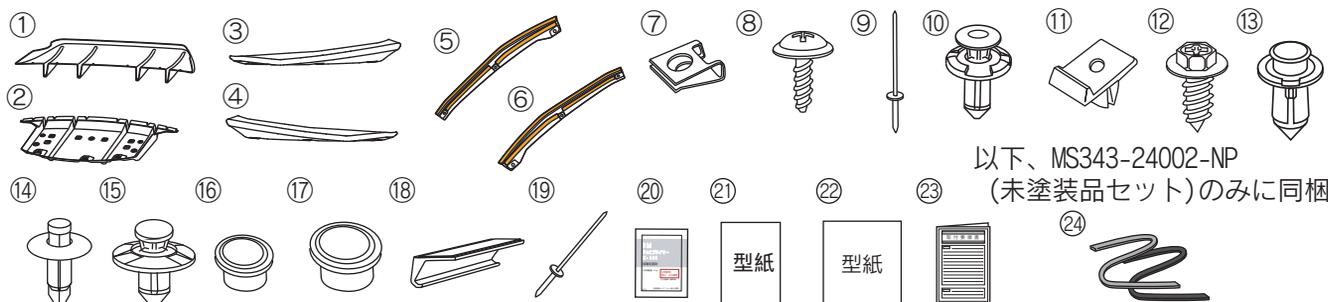
※1 年式により純正アンダーカバーの形状が異なるため、フロントエアロスパッツの取付作業が異なります。

■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	リヤディフューザー		1	
②	アンダーカバー		1	
③	リヤスポイラー RH		1	
④	リヤスポイラー LH		1	
⑤	リヤスポイラー別ピース RH		1	
⑥	リヤスポイラー別ピース LH		1	
⑦	Jナット		10	
⑧	タッピングスクリュー		10	5×16
⑨	リベット		4	φ4用 黒
⑩	クリップ		2	φ9用
⑪	グロメット		3	
⑫	タッピングスクリュー		3	6×16
⑬	クリップ		4	φ10用
⑭	クリップ		2	φ6用
⑮	クリップ		2	φ8用
⑯	ホールプラグ		4	φ8用
⑰	ホールプラグ		4	φ12用
⑱	フロントエアロスパッツ		1	
⑲	リベット		6	φ5用 黒
⑳	PACプライマー		1	K-500
㉑	型紙		1	A4シール
㉒	型紙		1	A3
㉓	取付取扱要領書		1	本書

以下、MS343-24002-NP (未塗装品セット) のみに同梱

部品名	品番	数量	備考
⑳	モール	各2	黒/グレー L=500mm



■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付けの際は、指定トルクに従って各タッピングスクリューを十分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが大きくなり、脱落等により重大な事故、故障の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、タッピングスクリューが緩みやすいので、数キロ走行後には必ず増し締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けて下さい。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、レクサス販売店にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ずレクサス販売店で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は本書を良くお読み頂き、注意・警告事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品セット (MS343-24002-NP) は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定し、70℃以下で乾燥させてください。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、IPA※又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 焼付け塗装の際に、乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。
-  **注意** 車両部品の脱着および車両へのリヤティフューザーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。
また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力最大限に発揮させる為貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

※IPA=イソプロピルアルコール

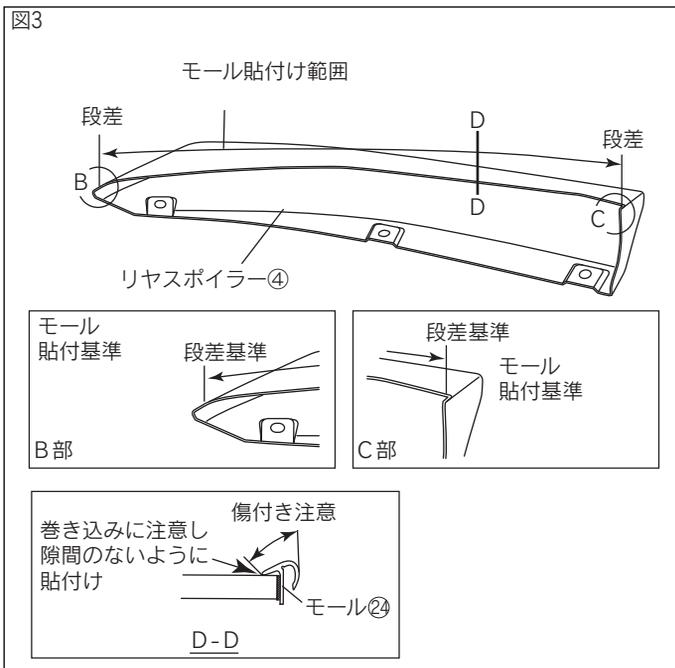
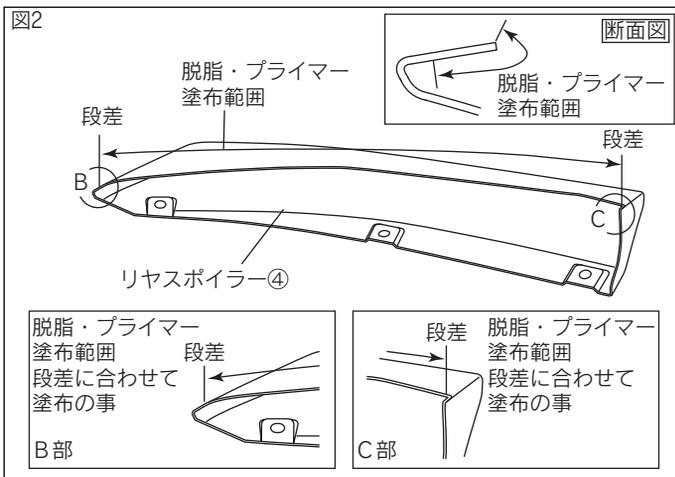
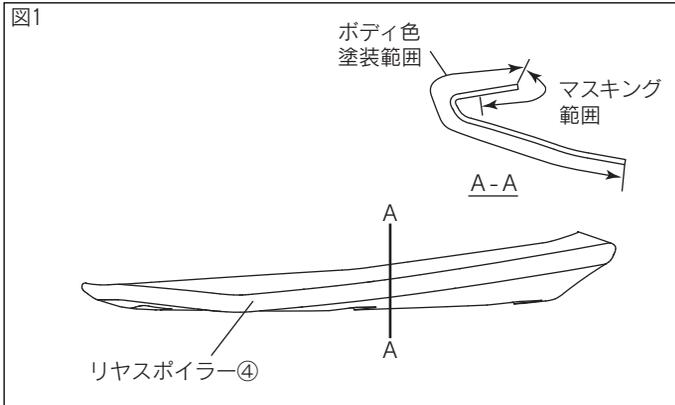
本商品は、3年・60,000Kmの保証を実施致します。(3年または60,000Km走行時点のいずれか早い方まで)

保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。

■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS343-24002-NP) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示してあり、RH側も同様に行ってください。
※本取付・取扱要領書は、主にガソリン車を示しており、注記がなければHV車も同様の作業を行ってください。

□リヤスポイラーの塗装

1. 図1のようにリヤスポイラー④を塗装する。

注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下「IPA」という）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。
サーフェーサーが溶ける恐れがあります。

△注意：モーラー貼り付け面には、絶対に塗装しないでください。
接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

□モーラーの貼付け

1. 図2のようにモーラー貼り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500②を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残し、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

△注意：PACプライマーK-500②は再度使いますので、二つ折りにし揮発しないようにしてください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

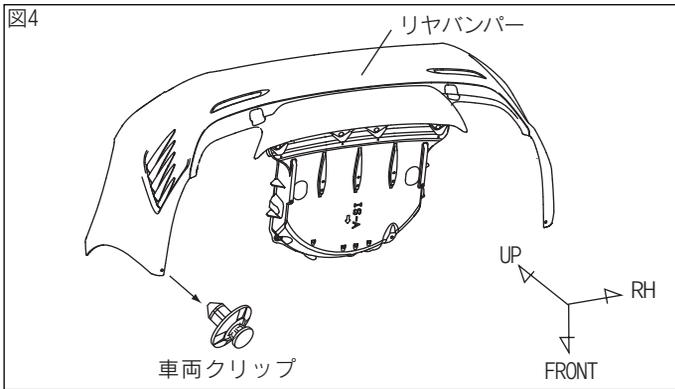
2. 図3のようにリヤスポイラー④に、モーラー④の両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け、圧着する。

{49N (5kgf) 以上}

モーラー④は長めに設定されているので、長さに合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モーラー④は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モーラー色を選択し貼付けてください。

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

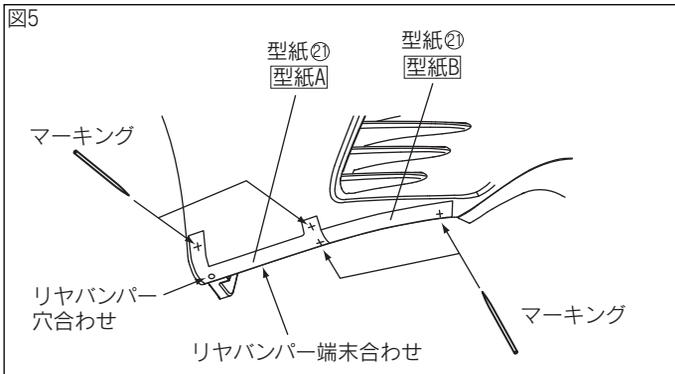


※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示してあり、RH側も同様に行ってください。
 ※本取付・取扱要領書は、主にガソリン車を示しており、注記がなければHV車も同様の作業を行ってください。

□リヤスポイラーの取付準備

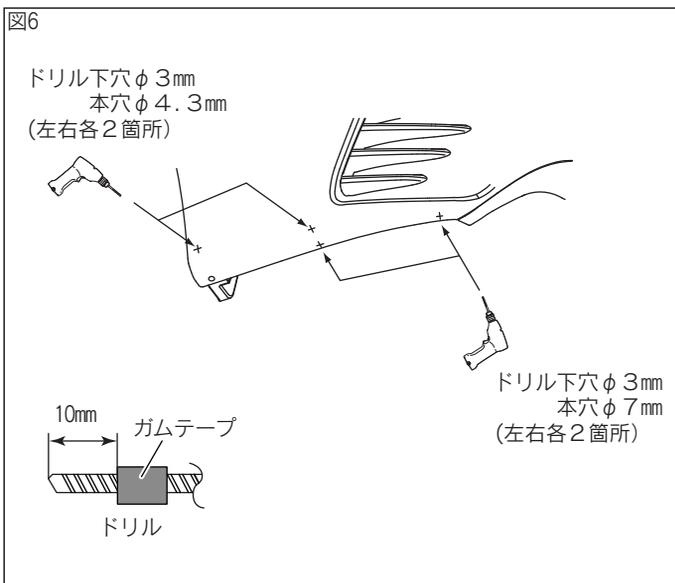
1. 図4のようにリヤバンパーから車両クリップを取り外す。(左右各1箇所)

△注意：取り外した車両クリップは再使用しません。



2. 型紙②から型紙A、型紙BのLH側を台紙から剥がし、図5のように型紙Aをリヤバンパーの穴を基準に合わせて貼り付ける。
3. 図5のように型紙Bを、型紙Aとリヤバンパーの端末に合わせて貼り付け、マーキングする。(左右各4箇所)

4. 型紙A、型紙Bを剥がす。

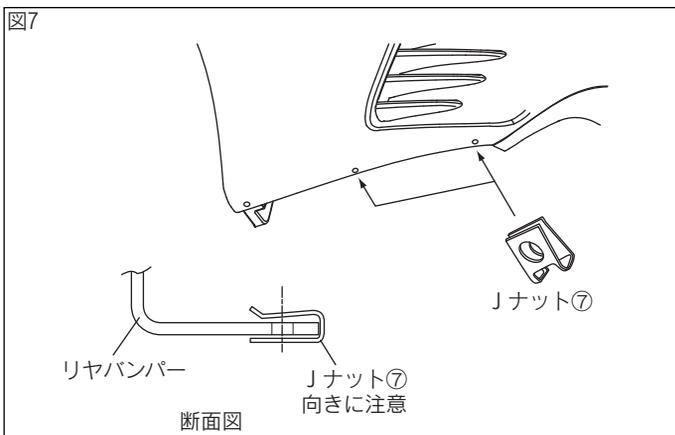


5. 図6のようにφ3mm、φ4.3mm、φ7mmのドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3mmのドリルを使用してリヤバンパーのマーキング位置に下穴をあける。
6. 図6のように下穴に上側をφ4.3mmで、下側をφ7mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。(左右各2箇所)

△アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

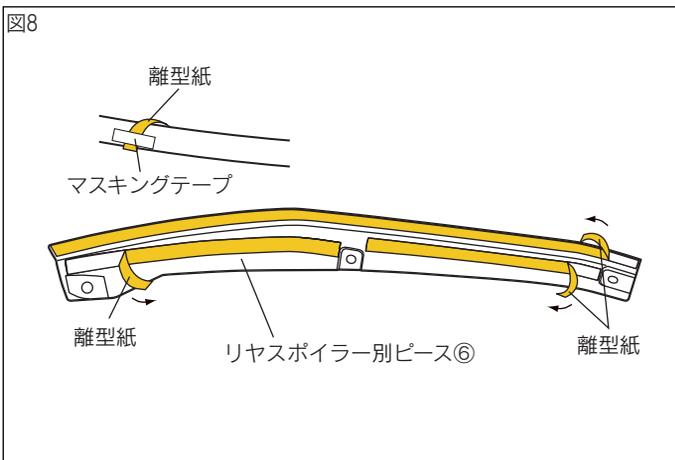
△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



7. 図7のようにリヤバンパーの下面にあけた穴にJナット⑦を差し込む。(左右各2箇所)

△注意：図7のようにJナット⑦の差し込む向きに注意してください。逆に取り付けるとタッピングスクリュー⑧が取り付けなくなります。

図8

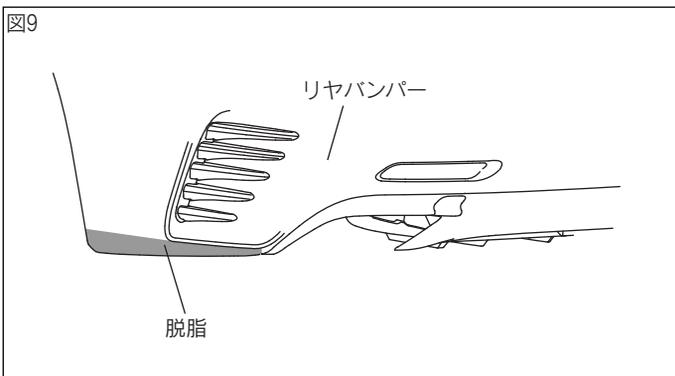


※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

8. 図8のようにリヤスポイラー別ピース⑥の両面テープの離型紙を、矢印の向きに約40mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼り付ける。
(左右各3箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取り付け位置に取り付けが出来なくなります。

図9

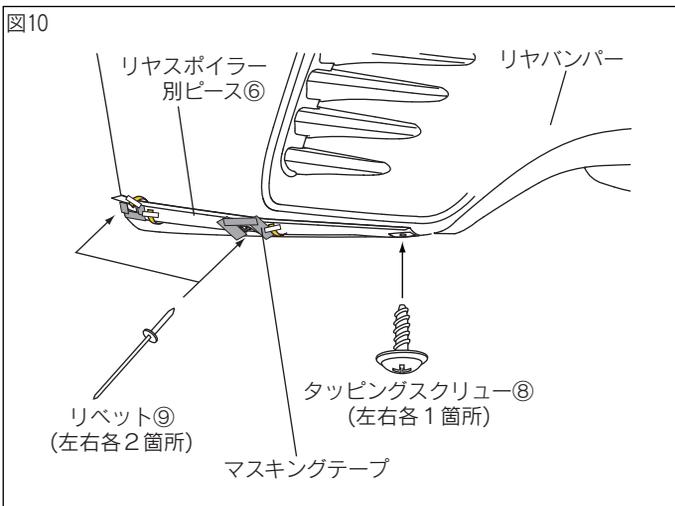


9. 図9のようにリヤバンパーのリヤスポイラー別ピース⑥取り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

△警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください。

△注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

図10



□リヤスポイラーの取付要領

1. 図10のようにリヤスポイラー別ピース⑥をタッピングスクリュー⑧で仮締める。
(左右各1箇所)
2. 図10のようにリベット取り付け部周辺のリヤバンパー及びリヤスポイラー別ピースをマスキングテープ等でマスキングし、リベット⑨を取り付ける。
(左右各2箇所)

△注意：マスキングをせずにリベットの取り付けを行うと、リヤバンパー及びリヤスポイラー別ピースを傷付ける可能性があります。

3. マスキングを剥がす。

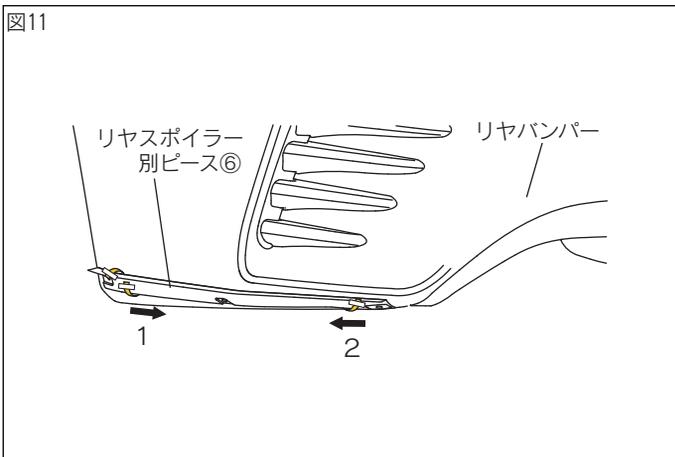
4. リヤスポイラー別ピース⑥の両面テープの離型紙を図の番号順に剥がしながら貼り付け、圧着する。
(左右各2箇所)

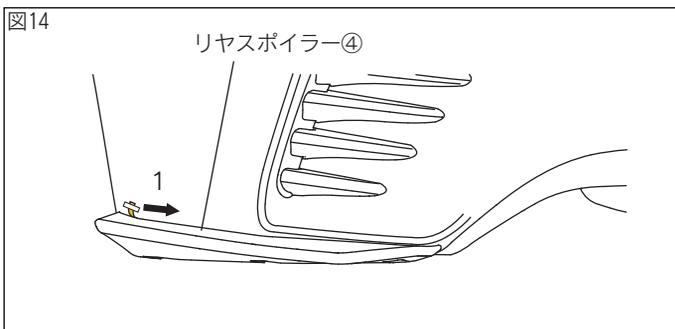
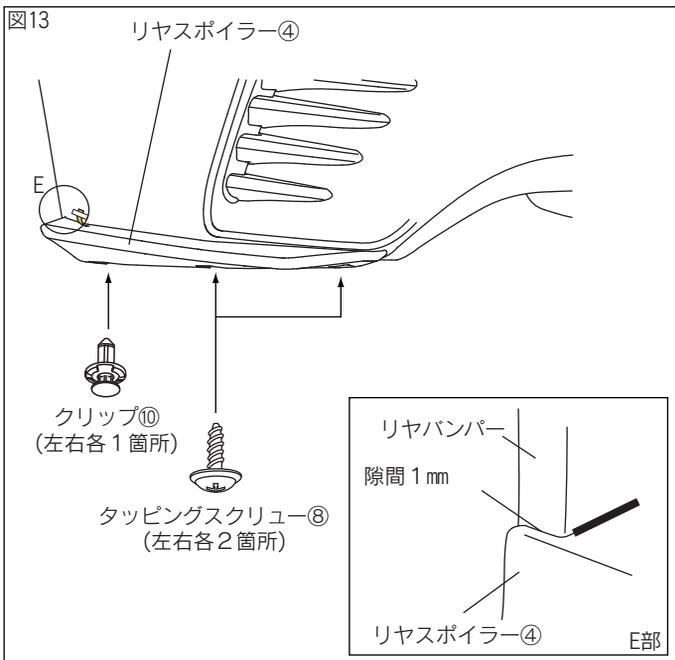
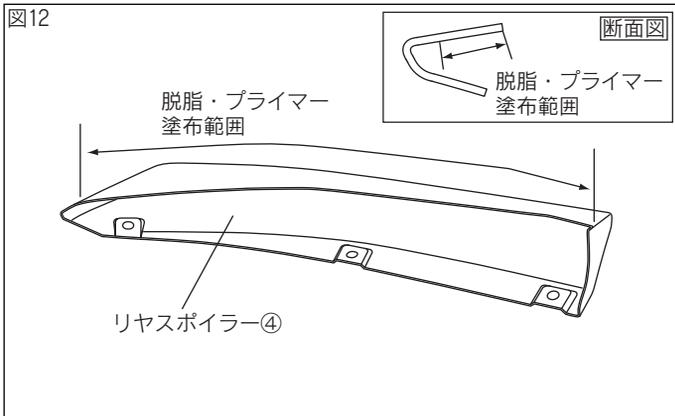
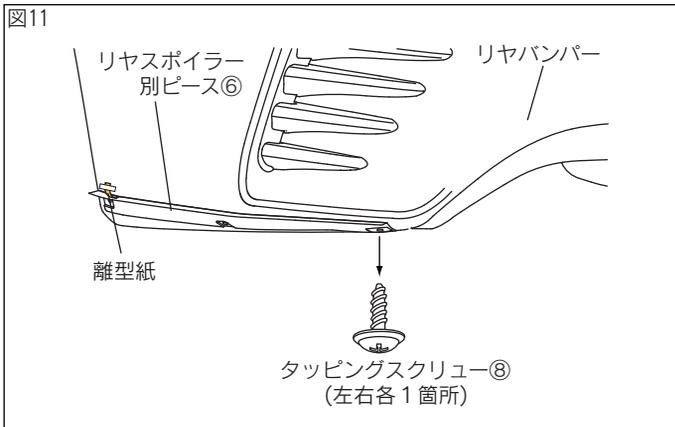
{49N (5kgf) 以上}

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となります事があります。

図11





※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

6. 仮締めしておいたタッピングスクリュー⑧を取り外し、離型紙をリヤバンパーに貼り付けする。(左右各1箇所)

👉 アドバイス：取外したタッピングスクリューは再使用します。

7. 図12のようにリヤスポイラー内側の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑳を塗布する。(左右各1箇所)

⚠️ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

⚠️ 注意：PACプライマーK-500⑳は再度使いますので、二つ折りにし揮発しないようにしてください。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

👉 アドバイス：未塗装品は、モール貼付け時のプライマー塗布後24時間以内であれば不要です。

8. 図13のようにリヤスポイラー④をリヤスポイラー別ピース⑥にかぶせ、ホイールハウスの下をクリップ⑩でリヤスポイラー④をリヤバンパーに固定する。(左右各1箇所)

9. 図13のようにE部のようにリヤスポイラー④とリヤバンパーの隙間を1mm空け、タッピングスクリュー⑧を仮固定する。(左右各2箇所)

⚠️ 注意：両面テープの離形紙を抜けるように注意してリヤスポイラーをかぶせてください。

10. 図14のようにリヤバンパーとリヤスポイラー④に隙間が開かないように押し付け、リヤスポイラー別ピース⑥の両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け、圧着する。(左右各1箇所)

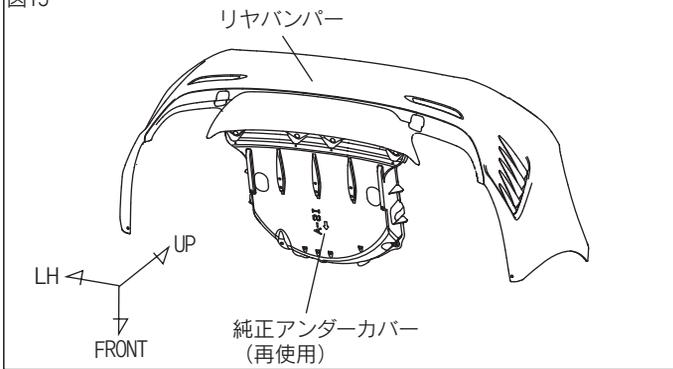
{49N (5kgf) 以上}

⚠️ 注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

⚠️ 注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

11. 仮固定していたタッピングスクリュー⑧を本締めする。(左右各2箇所)

図15



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。
 ※本取付・取扱要領書は、主にガソリン車を示しており、注記がなければHV車も同様の作業を行ってください。

□アンダーカバーの取付準備

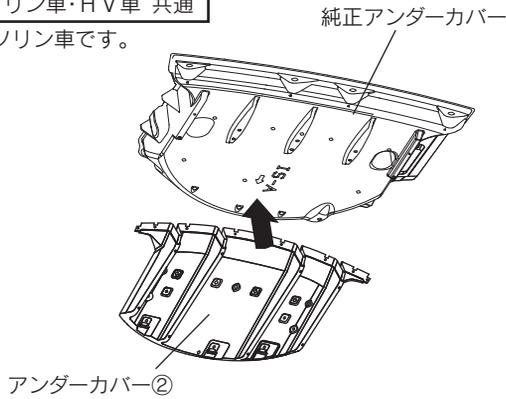
1. 車両修理書を参考にして、純正アンダーカバーを取り外す。

△注意：取り外した純正アンダーカバーは再使用します。

図16

ガソリン車・HV車 共通

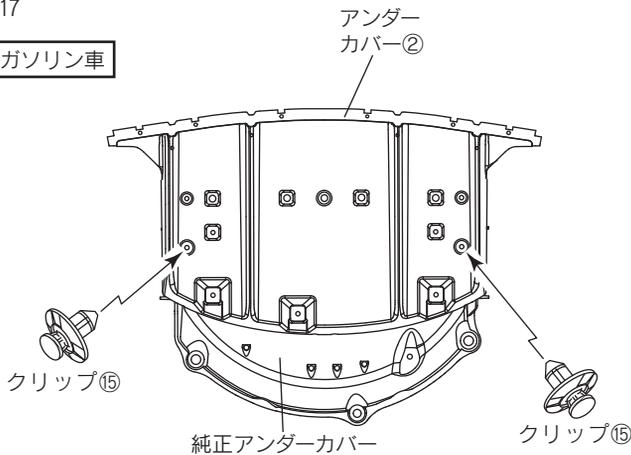
※図はガソリン車です。



2. 図16のように純正アンダーカバーにアンダーカバー②を被せる。

図17

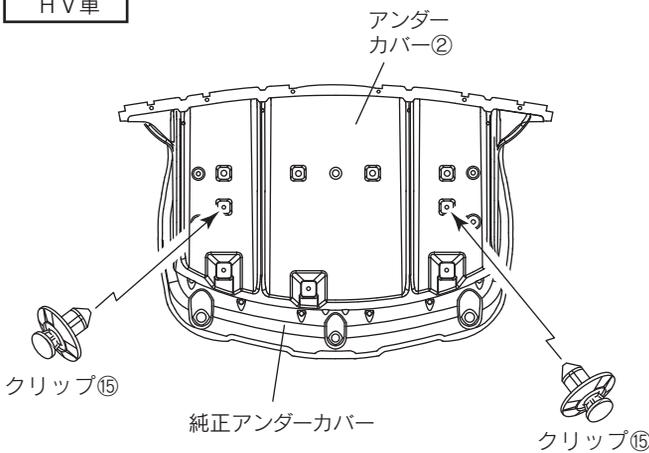
ガソリン車

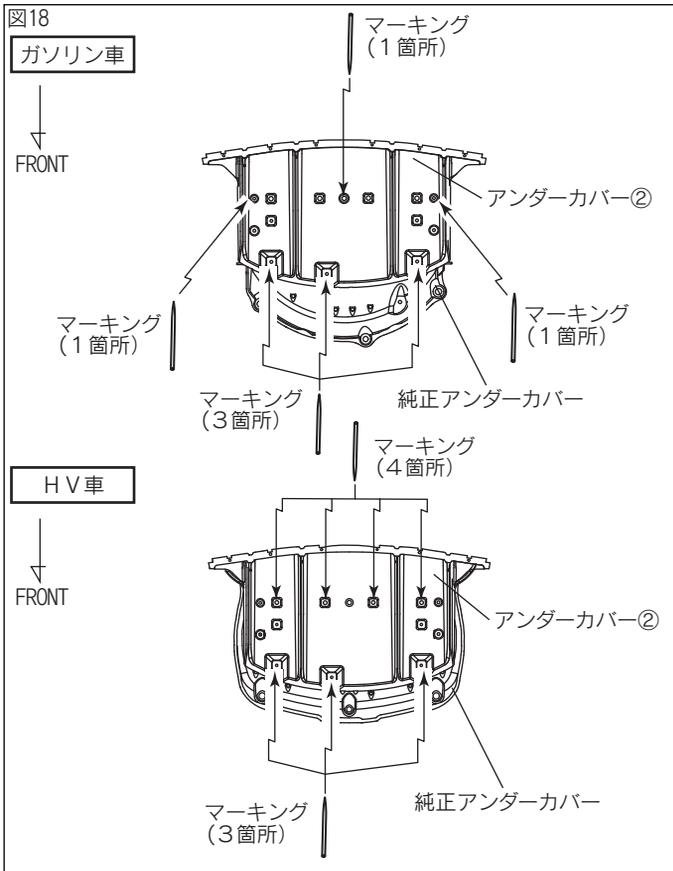


3. 図17のように純正アンダーカバーとアンダーカバー②を、クリップ⑮で固定する。(左右各1箇所)

👉 アドバイス：ガソリン車とHV車の純正アンダーカバーの形状が違うので注意してください。

HV車

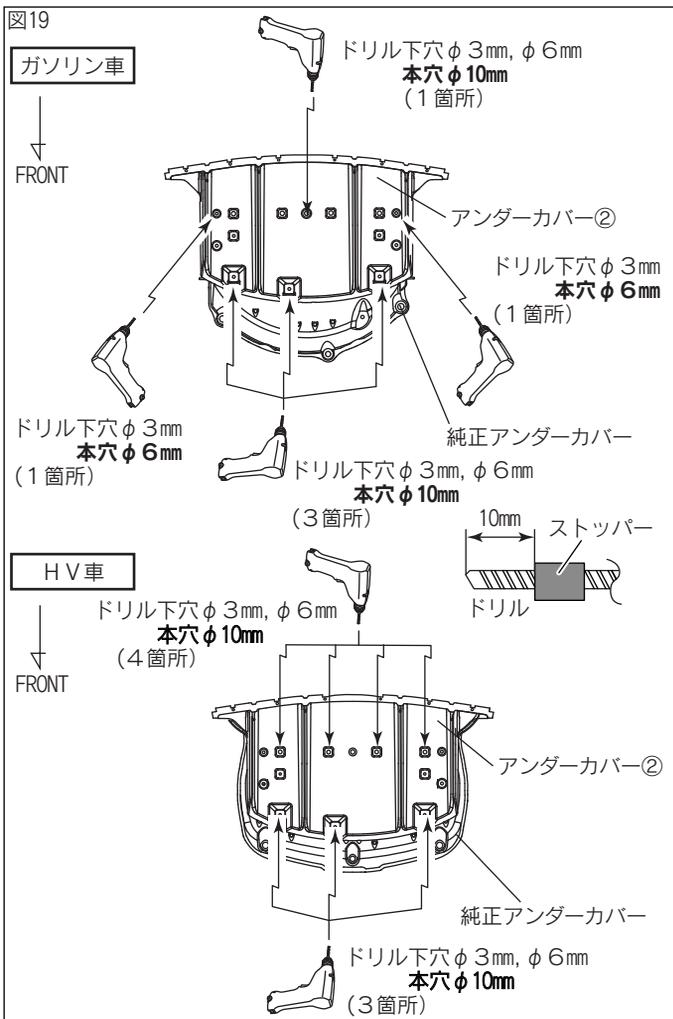




※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

4. 図18のようにアンダーカバー②の穴中心を基準に純正アンダーカバーをマーキングする。
(ガソリン車：6箇所、HV車：7箇所)

👉 アドバイス：ガソリン車とHV車の純正アンダーカバーの形状が違いますので注意してください。



5. 図19のようにφ3mm、φ6mm、φ10mmのドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3mm、φ6mmのドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。
(ガソリン車：6箇所、HV車：7箇所)

6. 図19のように下穴にφ6mm、φ10mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(ガソリン車：6箇所、HV車：7箇所)

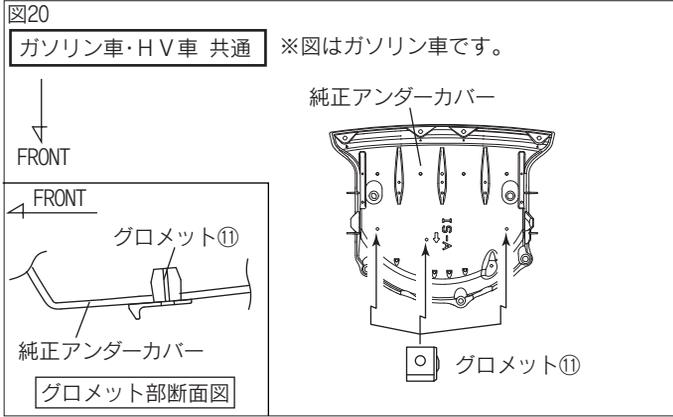
👉 アドバイス：ガソリン車とHV車の純正アンダーカバーの形状が違いますので注意してください。

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

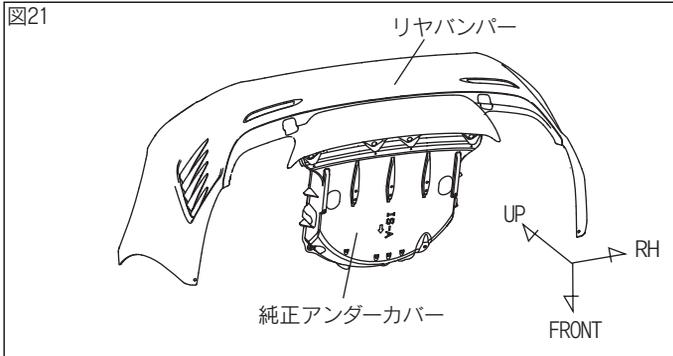
⚠️ 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

7. 穴あけ後、図17で取り付けしたクリップ⑩を外し、純正アンダーカバーからアンダーカバー②を取り外す。

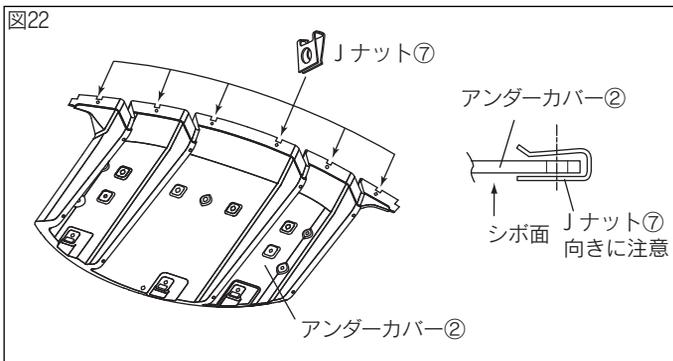


※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

8. 図20のように穴開けした純正アンダーカバーにグロメット①を向きに注意しながら差し込みます。
(3箇所)



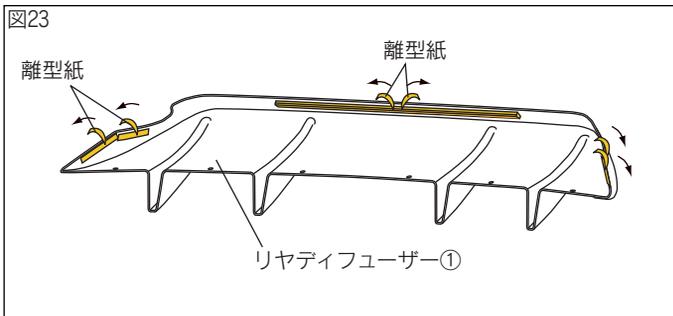
9. 車両修理書を参考にして、穴あけし、グロメット①を差し込んだ純正アンダーカバーを車両に復元する。



□リヤディフューザーの取付準備

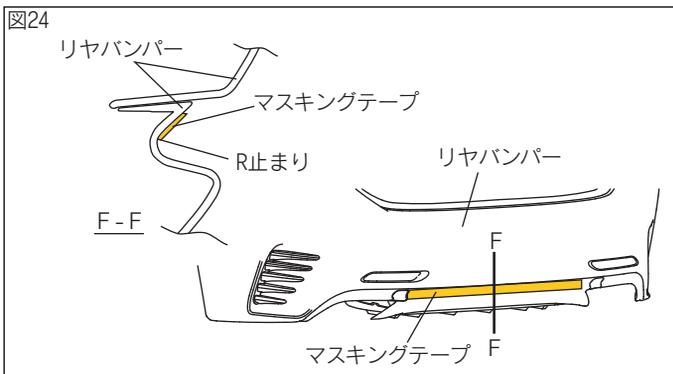
1. 図22のようにアンダーカバー②にJナット⑦をシボ面側が平らになるように差し込む。
(6箇所)

△注意：図22のようにJナット⑦の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクルー⑧が取り付けなくなります。

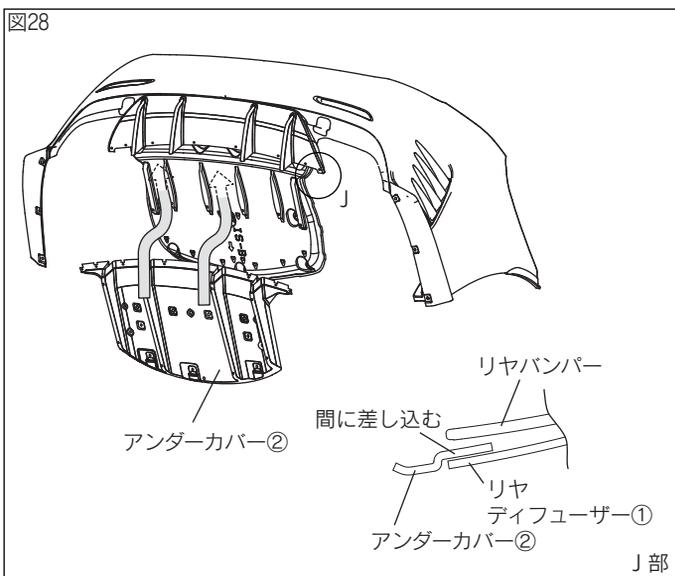
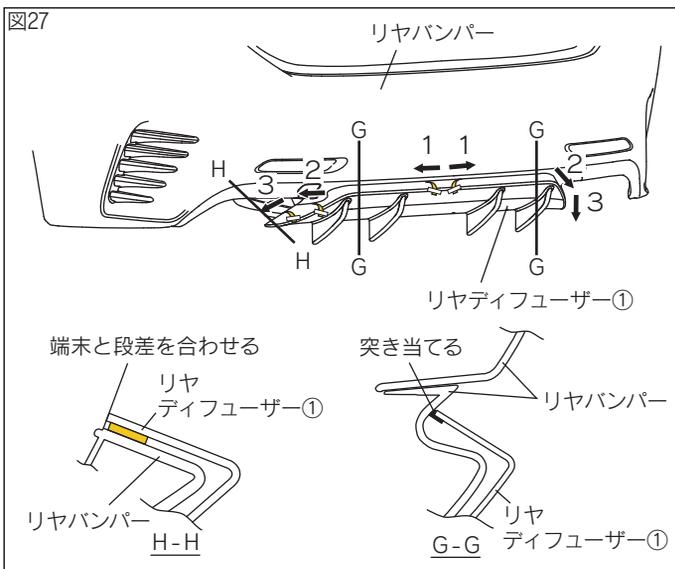
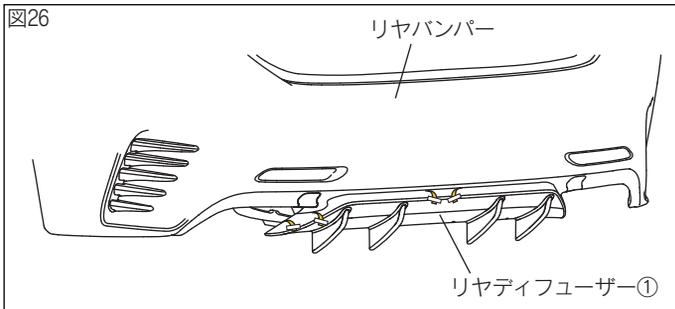
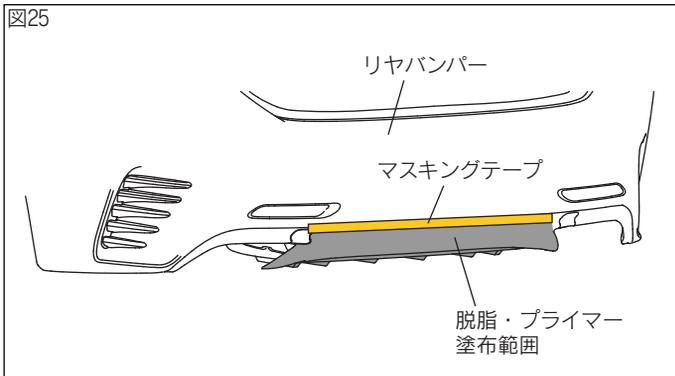


2. リヤディフューザー①の両面テープの離型紙を、図23のように矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼り付ける。
(左右各3箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取り付け位置に取り付けが出来なくなります。



3. 図24のようにリアバンパーのリヤディフューザー①取り付け部の上面部の溝のR止まりから上側にマスキングテープを貼り付ける。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

4. 図25のようにリアバンパーのリアディフューザー①取り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500®をマスキングテープにはみ出さないように塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残ると、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

👉アドバイス：マスキングテープはリアディフューザー①取付時の傷つき防止のため剥がさないでください。

□ リヤディフューザーの取付要領

1. 図26のように、リアディフューザー①を、リアバンパーにかぶせ、マスキングテープを剥がす
2. 図27のようにリアディフューザー①の両面テープの離型紙を図の番号順に剥がしながら貼り付け、圧着する。(左右各3箇所)
{49N (5kgf) 以上}

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

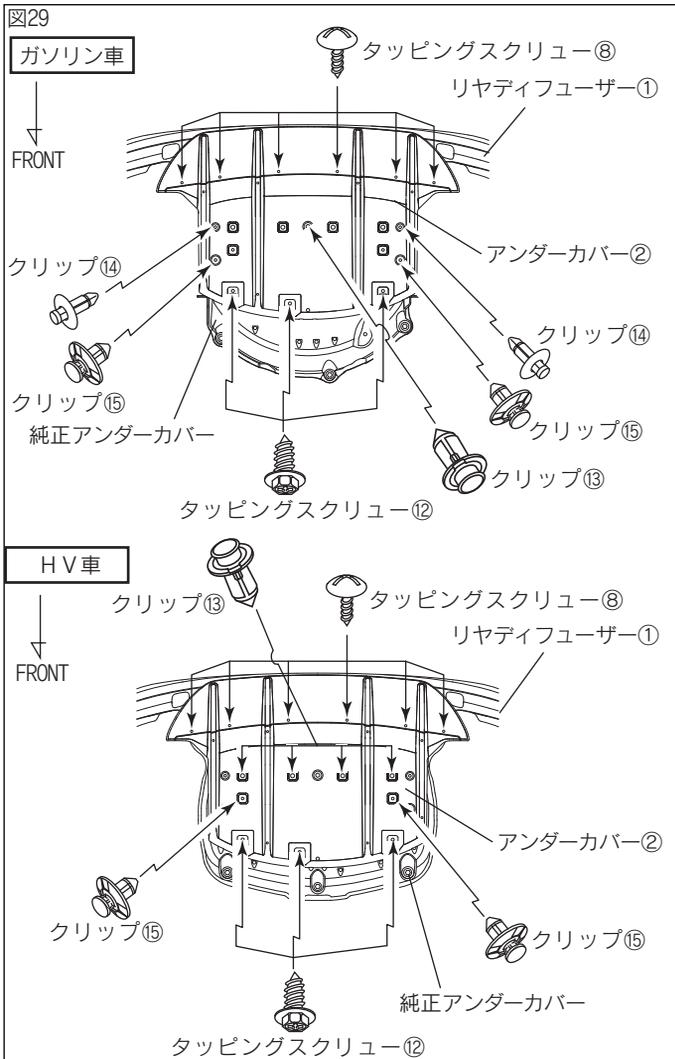
△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

□ アンダーカバーの取付要領

1. 図28を参考に、アンダーカバー②がリアディフューザー①の内側に入るように差し込む。

△注意：アンダーカバー②のJナット⑦は必ずリアディフューザー①の内側に入れてください。

👉アドバイス：アンダーカバー②はリアディフューザー①とリアバンパーの間に差し込んでください。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

2. 図29のようにリヤディフューザー①とアンダーカバー②を、タッピングスクリュー⑧で固定する。

(6箇所)

3. 図29のように純正アンダーカバーとアンダーカバー②を、クリップ⑮で固定する。

(左右各1箇所)

4. 図29のように純正アンダーカバーとアンダーカバー②を、タッピングスクリュー⑫で固定する。

(3箇所)

5. 図29のように純正アンダーカバーとアンダーカバー②を、クリップ⑬(1箇所)とクリップ⑭(左右各1箇所)で固定する。

(ガソリン車のみ)

6. 図29のように純正アンダーカバーとアンダーカバー②を、クリップ⑬(左右各2箇所)で固定する。

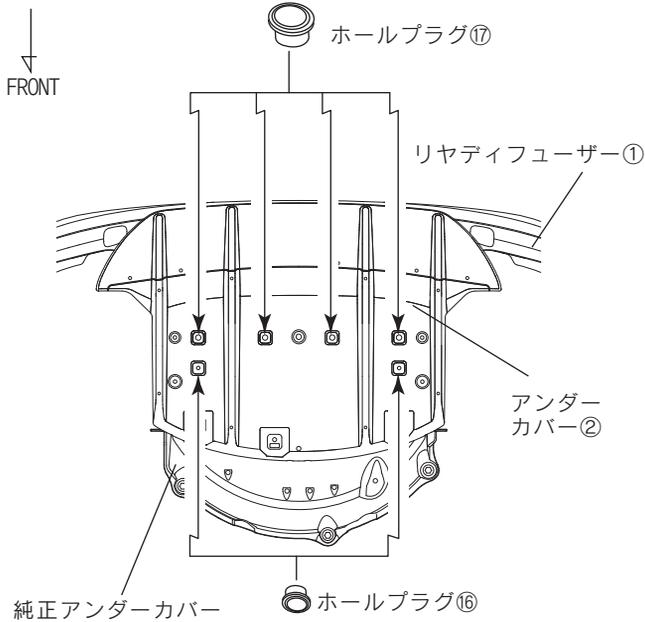
(HV車のみ)



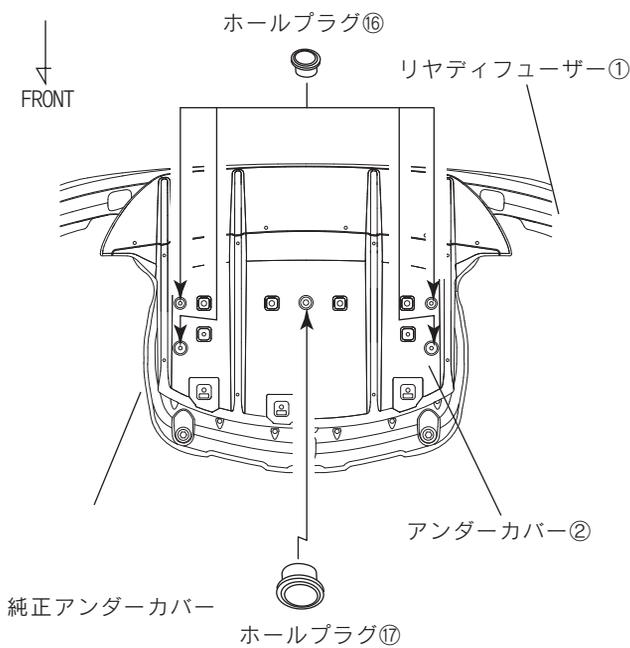
アドバイス：ガソリン車とHV車の純正アンダーカバーの形状が違いますので注意してください。

図30

ガソリン車



HV車



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

7. 図30のようにアンダーカバー②の使用しない穴を、ホールプラグ⑭(左右各1箇所)、ホールプラグ⑬(左右各2箇所)でふさぐ。
(ガソリン車のみ)

8. 図30のようにアンダーカバー②の使用しない穴を、ホールプラグ⑭(左右各2箇所)、ホールプラグ⑬(1箇所)でふさぐ。
(HV車のみ)

👉 **アドバイス**：ガソリン車とHV車の純正アンダーカバーの形状が違うので注意してください。

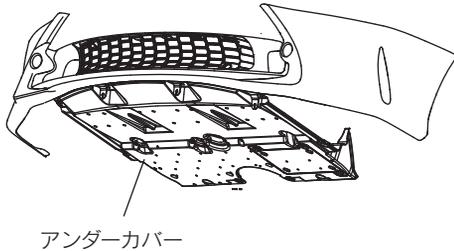
ガソリン車の場合、以下の部品が余ります。

⑬
⑭
 × 3
 × 2

HV車の場合、以下の部品が余ります。

⑭
⑬
 × 2
 × 3

図31



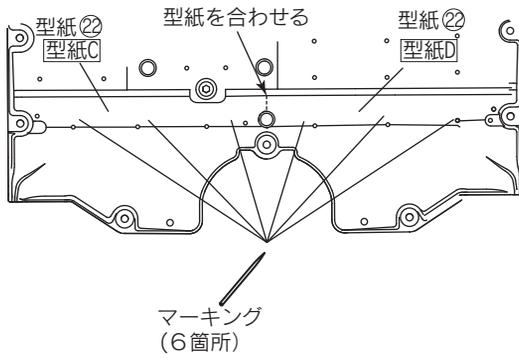
アンダーカバー

□フロントエアロスパッツ取付 ※' 15.9~の車両はP15・16の作業に進んでください。

1. アンダーカバーを取外す。

△注意：取外した車両部品は再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

図32

マーキング
(6箇所)

2. 型紙㊸から型紙C、型紙Dを切り取り、図32のようにフロントエアロスパッツ⑩の穴位置をマーキングする。(6箇所)

3. 図33のようにφ3mm、φ5.2mmのドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3mmのドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。(6箇所)

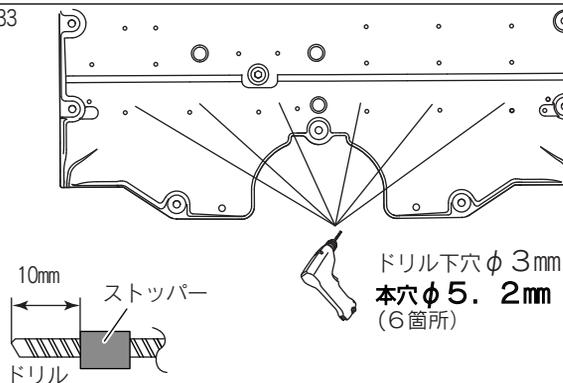
4. 図33のように下穴にφ5.2mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。(6箇所)

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

図33

10mm
ストッパー
ドリルドリル下穴φ3mm
本穴φ5.2mm
(6箇所)

5. 図34のようにアンダーカバーのフロントエアロスパッツ⑩取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂し、PACプライマー-500㊸を塗布する。

△注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

図34

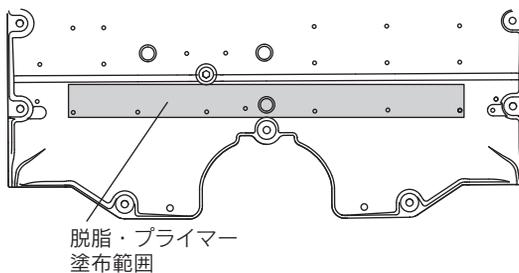
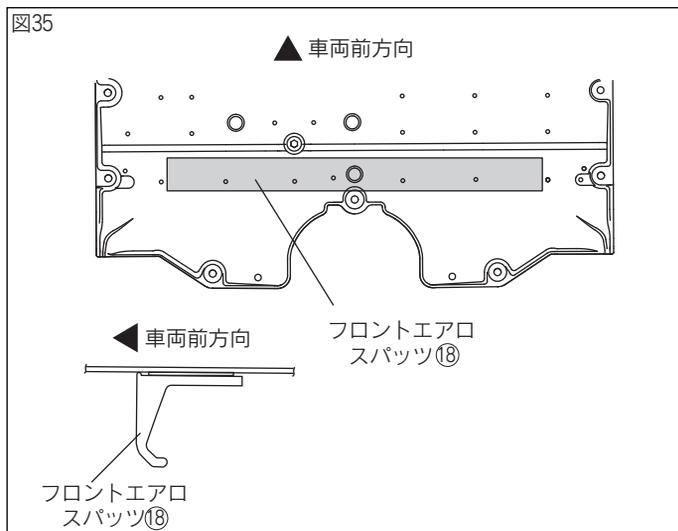
脱脂・プライマー
塗布範囲

図35



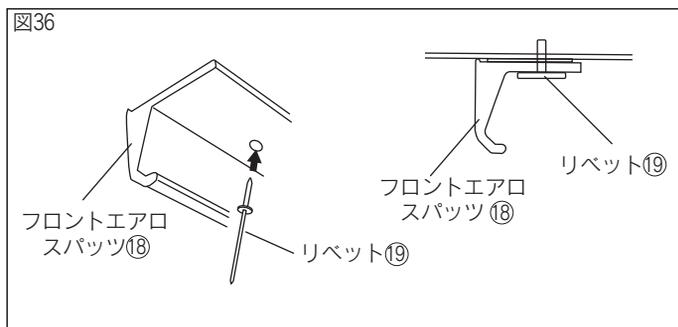
6. 図35の断面図を参考に、アンダーカバーにあけた穴に合わせ、位置ズレが無いかを確認しフロントエアロスパッツ⑱の両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け圧着する。**{49N (5kgf) 以上}**

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

図36

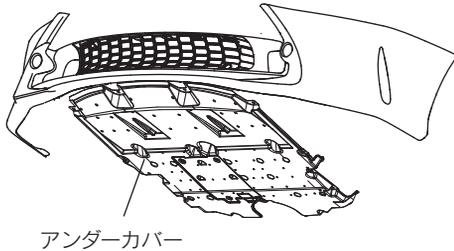


7. 図36のように、アンダーカバーとフロントエアロスパッツ⑱の穴にリベット⑲を差し込み固定する。

■取付完了後の点検・注意事項

1. リヤディフューザーとアンダーカバーをタッピングスクリュー・車両ビス・ボルト・クリップにて、リヤスポイラーと別ピースをタッピングスクリュー・クリップ・リベットにて、フロントエアロスパッツをリベットにて、車両に確実に取り付けられているか点検する。
2. リヤディフューザー、リヤスポイラー、アンダーカバー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。

図37

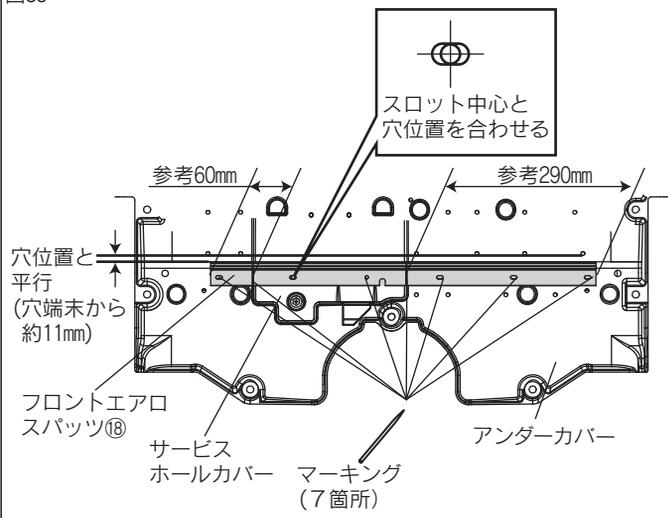


□フロントエアロスパッツ取付

1. アンダーカバーを取外す。

△注意：取外した車両部品は再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

図38



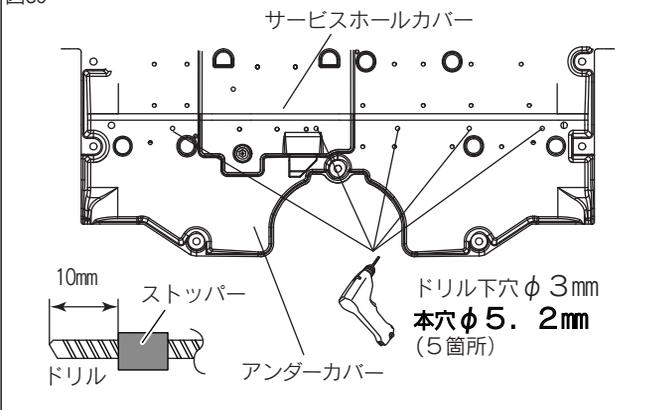
2. 図38のようにフロントエアロスパッツ®をアンダーカバーの穴位置に合わせガムテープ等で仮固定し、穴位置をマーキングする。(5箇所)

3. アンダーカバーとサービスホールカバーとの合わせ目にフロントエアロスパッツ®のカットラインをマーキングする。(2箇所)

4. 3. でマーキングしたラインでフロントエアロスパッツ®をカットする。(2箇所)

5. 図39のようにφ3mm、φ5.2mmのドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3mmのドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。(5箇所)

図39



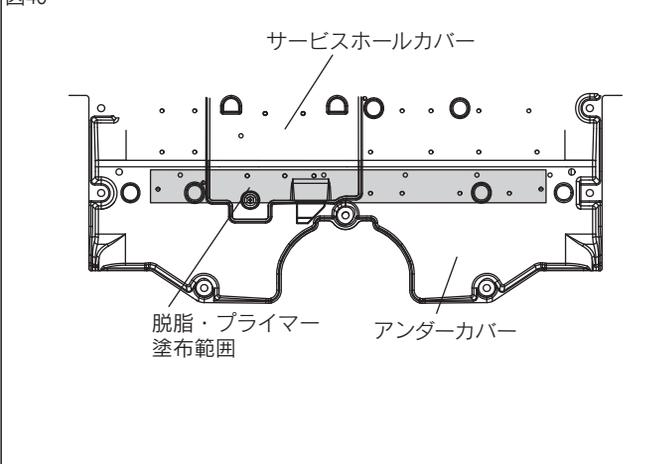
6. 図39のように下穴にφ5.2mmのドリルで本穴をあける。(5箇所)

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

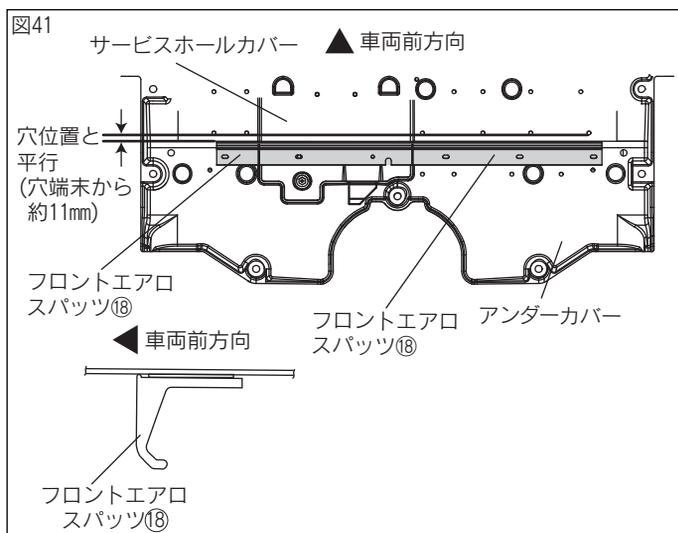
図40



7. 図40のようにアンダーカバーとサービスホールカバーのフロントエアロスパッツ®取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500®を塗布する。

△注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

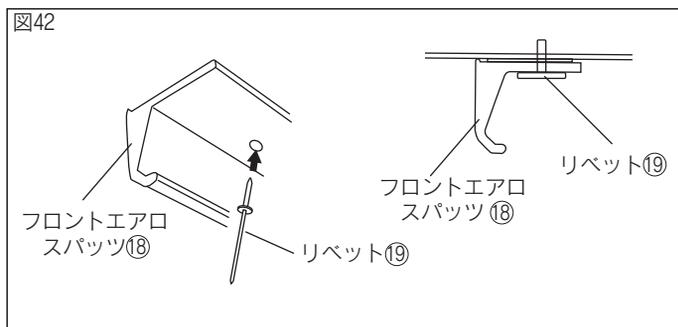


8. 図41の断面図を参考に、アンダーカバーにあけた穴に合わせ、位置ズレが無いかを確認しフロントエアロスパッツ⑱の両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け圧着する。**{49N (5 kg f) 以上}**

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



9. 図42のように、アンダーカバーとフロントエアロスパッツ⑱の穴にリベット⑲を差し込み固定する。

10. フロントエアロスパッツ⑱取付後、サービスホールカバーの脱着が行えるか確認する。

■取付完了後の点検・注意事項

1. リヤディフューザー、リヤスポイラー、フロントアンダーカバーが車両ビス・タッピングスクリュー・ボルト・クリップ・リベットにて、車両に確実に取り付けられているか点検する。
2. リヤディフューザー、リヤスポイラー、アンダーカバー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。